
僕 今 そして、

黒沢翔

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕 今 そして、

【コード】

N2032C

【作者名】

黒沢翔

【あらすじ】

これは、おそらく詩です。自分に向けたメッセージ。

自分勝手な僕がここにはいる。

いつも周りに迷惑かけて、自分だけ幸せになりたいと願っている自分がいる。

人に相談することだけして、でも、相手の言葉を受け入れない。

ただ、自分の考えを分かってくれる人を探しているだけ。

相手が、自分を思ってくれて言った言葉を聞いても、それを否定する。

結局は、自分の言葉が一番大切だと思ってる。

そんな僕にこの先、言葉をかけてはくれない。

みんな無駄だと思う。もし自分が相手の立場ならそう思うだろう。

ただ、かまってほしい。そう願っている。そして、誰かにかまっていたい。

人を必要とと思っている僕が、心の奥では、一人なんだと思い込んでいる僕が、それでも接してくれる人達がいることに気づかない僕が、本当はただ自己満足のために誰かにかまい、かまわれたいと思っただけなんだ。

変わらないといけない。自分を支えてくれる本当の人の存在に気付いて、素直に受け入れなければいけない。自分は可哀想だと思い込んで、被害妄想に浸ることに実は満足している。逃げ道をつくって、本気で向き合っていないと。変えなければいけない。

ここに気付くため今の想いを記す。

これは変わらない、気付こうとしない馬鹿なやつに向けたメッセージ。

人は一人では生きていけないと誰かがいった。実際支えがなくなっちゃ生きていけないのも事実。

自分は、一人だと思ってる人がいるかもしれないが、よく見渡してほしい。

誰にだって支えてくれる人はいるんだと。気付かないだけなんだと。

この想いがつくる踏み出す一步に意味があると、そして、明るい未来へ架かる橋へと近づけると信じて。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2032c/>

僕 今 そして、

2010年10月16日00時09分発行